

第2回 防府市社会教育委員の会議 会議録

日時：令和4年5月26日（木）午後1時30分から午後4時まで

場所：文化福社会館3階4号

出席委員：渡邊委員（委員長）、隅野委員、三隅委員、森原委員、土井委員、藤井委員、
門田委員、山野委員、齋藤委員、尾崎委員、堀委員、竹内委員、徳本委員、
井上委員、大下委員

欠席委員：弘中委員、宮本委員

【全体会】

- 1 渡邊委員長あいさつ
- 2 江山教育長あいさつ
- 3 教育委員会、関係課職員の紹介
- 4 議題
 - (1) 令和4年度 教育施策の概要について
教育部長により説明を行った。
 - (2) 令和4年度 当初予算の概要について
教育部次長により説明を行った。
 - (3) 社会教育関係団体補助金について
各課長から説明を行った。
 - (4) 質疑応答
※以下、要旨。表現は簡略化しています。

(委員長)

青少年科学館と文化財郷土資料館の間にあるエレベーターは使用されているのか。

(事務局)

主に、文化財郷土資料館から青少年科学館に行く人が使用している。

(A 委員)

会議資料は、事前にメールをするか配付してほしい。

文化財資料館は学習スペースとして開放されているのか。

(事務局)

学習スペースとしては開放していない。今後、検討させていただく。

(B 委員)

本市には、少年自然の家のような子どもの宿泊学習施設が無いため、現在、市内の子どもたちは市外の宿泊学習施設を利用している。社会教育の立場から、子どもが防府（の歴史）を学ぶ拠点となるような施設が市内にあればと考える。総合計画などの長期計画を策定されるなかで、このような施設の建設の予定について、現時点での見通しを教えてください。

(事務局)

令和7年度までを計画期間とする現在の総合計画では、宿泊学習施設を建設する予定は無い。御意見は今後の計画策定に向けての参考にさせていただく。

(C 委員)

宿泊学習施設については、本市にはサイクリングターミナルがあり、建設された当初は大人や子どもも宿泊をして研修をしていたが、利用者数が継続的に確保されないと運営が難しいといった側面がある。

防府には山もあり、自然も豊かであるので、今後、宿泊学習施設の建設を検討してほしい。令和7年度以降に検討とは言わずに、子どもの教育本位で考えてほしい。

また、公民館の建設では、バリアフリーの一環で玄関（屋外）にスロープが設けられているが、屋内のバリアフリー化についても対応し、全ての人が公民館をスムーズに利用できるように建設の際にはきめ細かく検討してほしい。

(事務局)

サイクリングターミナルは、合宿なども可能であり、校長会でも案内をしている。公民館の建設におけるバリアフリーへの対応については、御意見を踏まえてしっかりと考えていきたい。

(D 委員)

アスピラートの市民ギャラリーのオープン記念で「飴村 秀子展」をされており、とてもセンスが良いと思った。また、文化財郷土資料館で大河ドラマに関する企画をされているが、今後も、こういったタイムリーな企画を展開してほしい。